

商品市況展望

平成 25 年 7 月 21 日記

相場には「絶対上がる」とか、「間違いなく下がる」とかというものは無い。しかし自分の命の次に大事なカネを賭ける投機家は、「これは絶対上がる、これは間違いなく下がる」と信じて、相場を張っている。

誰も「下がりそうだけど買ってみる」とか、「自信がないけど、売る」とは思わない。1 万や 2 万のカネならいざ知らず、数百万、数千万、時には数億のカネを賭けようとなれば、仕掛ける前に万全の準備をして臨むのは当たり前。そして、(例え傍から見れば根拠はなくても) 絶対的な自信を持ち得なければ、スタート出来ぬのは当然のことだ。

例えば有名な経済評論家が“さも”という話をすれば信じてしまうのが素人だが、プロは人の意見は沢山聞くが、決してそのままを鵜呑みになんかしらない。外れたって誰か保証してくれるわけではないし、結果は自己責任だと骨の髄まで染み付いているからだ。

だが素人は、プロの相場師や色んな人に「ね、上がると思う？」と聞きまくり、自分と意見が一致すれば安心する。しかしホントのプロは、「10 人中、9 人が買った」と言った相場は逆に売る。売らないまでも、少なくとも買いは降りる。そういうものだ。

だが結果として、そうやって絶対の自信を持って仕掛けた相場も、逆に行く事はある。そこから本当のプロと、単なる金持ち素人の分かれ道だ。

プロは必ずストップロスを入れておく。自分に絶対的な自信があったって、相場に絶対は無い事は身にしみて知っている。一度のトレードで全てを無くさないために、必ずストップロスを入れるのは当然なのだ。

仮に損切りしても、更にそこから手数料以上の下げをするなら、再度買い直しをしてもトータルでは損ではない。そういう感覚も身につけている。

つまりプロと素人の差は、たまたまの儲けの額の大小でもなければ、勝率でもない。上か下かの 50%・50%が相場なのだから、1 回当たりのトレード勝率は誰がやっても 50%前後にはなるはず。では勝率を 60%、70%と上げれば儲かるのか？ そういうものではない。

10 円幅を 9 回連続儲けても、100 円幅を一度やられればトータル 10 円の損だ。逆に 10 円幅を 9 回連続負けても、10 回目で 100 円幅を取れば儲けである。

利益幅が問題なわけで、仕掛け場面での期待収益、リスク額の予想を比較し、明らかに前者に分があるものしか賭けてはいけないのだ。

期待収益が 100 円あり、リスクも 100 円あるではやる価値無しだし、ましてや期待収益 10 円で、リスク 100 円のトレードなど、一体何のためにやってんの？という話だ。

期待収益が 100 円で、リスクが 30 円なら当然やるべきだろうし、そういう判断の積み重ねが必要なわけだ。

今回はここまで。次回はもうちょっと具体的に…。

〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

今週の金の値動き

	8月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
7月16日	¥4,122	34	¥4,115	34
7月17日	¥4,129	7	¥4,119	4
7月18日	¥4,118	-18	¥4,113	-6
7月19日	¥4,152	44	¥4,152	39

金相場は、先週号においては『押し目買い継続の相場であろう。次の目標は4,200円乗せであり、最終目標は4,400円台である』とコメントした。

今週の相場展開は、週末には4,171円(7/19)まで上昇。その後の夜間取引でも、4,185円まで記録であり、順調に戻り相場を演出している。

夜間取引では4,185円(7/22付け)まで上昇しており、これで底値である3,750円からは435円幅の戻りとなった。

…中略…

先週もコメントしたが「5,078円(4/11)→4,132円(4/16)までの下げ幅946円、4,132円→4,760円(5/10)までの戻りが628円と3分の2戻りを入れてからの今回の下落ゆえ、同程度の戻りならば700円ほど。つまりは4,450円辺りが戻りの限界だろうし、逆に言えばそこまで戻っても不思議ではないと見ている」とした相場観に、まだ変化はない。

ただし急落前に保合いた4,200円どころはまだ回復しておらず、そこはまだ一つの壁である。これを超えても、三尊天井のネックラインである4,430円(5/20)の壁があり、来週は3,750円の底値からの反騰も1ヶ月になるわけで、そろそろ失速の懸念も無いではない。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥5,873	2月7日	¥3,765	6月28日	¥4,152
2013年10月	¥4,404	10月29日	¥5,077	2月7日	¥3,761	6月28日	¥4,150
2013年12月	¥4,519	12月25日	¥5,081	2月7日	¥3,745	6月28日	¥4,151
2014年2月	¥4,759	2月26日	¥4,979	3月21日	¥3,751	6月28日	¥4,155
2014年4月	¥4,585	4月25日	¥4,760	5月10日	¥3,749	6月28日	¥4,153
2014年6月	¥4,031	6月26日	¥4,171	7月19日	¥3,750	6月28日	¥4,152

○NY金日足

…削除済み…

7/19のNY市場では、前日比8.7ドル高の1292.9ドルでの終了。高値で1297.1ドルまであつ

たが、7/17 の高値 1299.7 ドルに続き、1,300 ドル台乗せには失敗。

東京市場とともに6/28に記録した安値が底ではあり、その価格は1179.4ドルである。そこから120ドルほどは上がって来ているが、どうも1,300ドルが上値抵抗になって来た様相がある。仮に1,300ドル台に乗せたとしても、その上には1321.5ドルという上値抵抗線もあるわけで、そろそろまた失速～下落に転じても不思議はないところである。

先週号でもコメントしたが、…中略…

つまり現状では、上値期待が250円程度。下値リスクが800円程度あるわけで、そろそろ買い玉はすべて逃げて、次はどこで売るかの思案橋になるのではあるまいか？

なおCFTC発表の7/16現在のファンドのポジションは、前週比7,000枚増の2万3,500枚のロング。ファンドの買いは6週ぶりに増加した。

…中略…

また7/19現在でのETF残高は、1302.53トンと前週比34.93トンの減少である。16週連続の減少であり、ピーク時の1800トンからまだ減り続けている。

…中略…

結論として当方の相場観は、目標値に接近中。次はまた、売り狙いに大きく方針転換する時期が近づいていると見ている。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの値動き

	8月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
7月16日	¥4,561	58	¥4,575	63
7月17日	¥4,569	8	¥4,574	-1
7月18日	¥4,550	-19	¥4,562	-12
7月19日	¥4,598	48	¥4,608	45

プラチナ相場は、先週号においては『押し目買いの継続ではあるが、そろそろ抵抗線に接近する。リスクとリターンを考えた場合、高いところを買うのは危険になって来ただろう。場合によっては、途転売りも考える時期が接近しているかもしれない』とコメントした。

今週の相場展開は、週末には**4,636円(7/19)**の戻り高値まで上昇。その後の夜間取引では、**4,668円の高値まで続伸**しており、堅調な相場展開が続いている。

6月に金とともに急落した相場は、4,999円(5/16)→4,125円(6/27)までの下落で874円幅。2/8の高値5,300円を起点にすれば、1,175円の下落であった。

それが**4,125円(6/27)→4,668円**までの戻りで、現在は**543円幅の上昇中**だ。前者の62%戻し、後者でも46%の戻りである。

チャートでは…中略…

そうして考えると、**4,600円台から更に買い進むのは危険であり、むしろ今度は売り場を探すのがベターなのではあるまいか？**

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥5,274	2月7日	¥3,807	8月31日	¥4,598
2013年10月	¥3,998	10月29日	¥5,288	2月8日	¥3,933	10月30日	¥4,598
2013年12月	¥4,249	12月25日	¥5,300	2月8日	¥4,122	6月27日	¥4,604
2014年2月	¥4,831	2月26日	¥5,052	3月12日	¥4,125	6月27日	¥4,608
2014年4月	¥4,622	4月25日	¥4,999	5月16日	¥4,109	6月27日	¥4,609
2014年6月	¥4,284	6月26日	¥4,636	7月19日	¥4,125	6月27日	¥4,608

○プラチナー金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、**4,608円(プラチナ) - 4,152円(金) = 456円**。金との順ザヤは拡大中である。

…中略…

結論として当方の相場観は、**4,600円台後半は買い玉の利食い場**であろう。**4,700円台は逆に売り場探しと見ており、方針の大転換の時期が接近している**と見ている。

〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	9月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
7月16日	¥28,600	-200	¥26,970	-260
7月17日	¥28,610	10	¥26,960	-10
7月18日	¥28,370	-240	¥26,580	-380
7月19日	¥28,280	-90	¥26,620	40

まずはコーンから…

先週号においては『収穫期には急落するのではあるまいか。徐々山が低くなっている相場展開は、すでに天井を打っており、そのうちに底抜けするものと考えている』とコメントした。

今週の相場展開は、26,400円(7/18)まで下落。7/10の高値からは1,400円の下落である。

当方が天井を打ったとした28,970円(6/3)からは、戻り高値が徐々に低くなっているわけだが、まだ底抜けする状況にはなっていない。

ちなみに週末のシカゴ市場の換算では180円高であり、やはり崩れてはいない。下値支持線は26,300円、25,690円とあるわけで、それを割って行かないと崩れたとは言えないチャートである。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおりである。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥33,570	6月3日	¥25,510	10月1日	¥28,280
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥28,910	5月30日	¥24,420	11月14日	¥26,000
2014年1月	¥25,700	12月17日	¥28,600	6月3日	¥24,930	12月21日	¥26,160
2014年3月	¥27,290	2月18日	¥28,750	6月3日	¥25,690	4月4日	¥26,400
2014年5月	¥26,550	4月17日	¥28,970	6月3日	¥26,200	6月17日	¥26,570
2014年7月	¥26,600	6月17日	¥28,410	6月21日	¥26,300	6月17日	¥26,520

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末7/19のシカゴ市場は、9月限で前日比3.00セント高の544.00セント。12月限では変わらずの500.75セント。

…中略…

CFTC発表の7/16現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、戻り売り継続の相場であろう。大崩れするとしてもまだ先かもしれないが、逆に急騰することはほとんど考えられない状況となっている相場である。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	8月限(当限)	前日比	6月限(先限)	前日比
7月16日	¥62,400	-500	¥55,130	160
7月17日	¥62,500	100	¥55,250	120
7月18日	¥61,050	-1450	¥55,140	-110
7月19日	¥60,500	-550	¥55,120	-20

続いて一般大豆です…

先週号においては『相場を引っ張る旧穀の最終限月である10月限の踏み上げ相場が終了しないと大きく下がらないのかもしれないが、危惧はそれだけ。新穀は戻り売りの相場だと思われ、高値は敢然と売りに上がるのがベターであろう』とコメントした。

今週の相場展開は、55,000円どころでの保合い。ただし当限は下落を始めており、逆に新穀の最初の限月である2月限は17日に一代高値の更新。限月別に違った動きとなっている。

チャートでは56,340円(7/10)に長い上ヒゲの高値を記録であり、そこから55,000円を挟んだ動きに変わっているが、まだコーンと比べると崩れていない姿である。おそらくこれは、限月の並びに関係しているのだろう。

とにかく今の穀物相場は、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥64,900	5月16日	¥47,500	11月13日	¥60,500
2013年10月	¥47,220	10月16日	¥68,750	7月10日	¥46,920	10月16日	¥66,890
2013年12月	¥50,680	12月17日	¥58,000	7月12日	¥48,450	1月9日	¥57,450
2014年2月	¥53,000	2月18日	¥56,000	7月17日	¥50,150	4月4日	¥55,450
2014年4月	¥50,910	4月17日	¥56,800	7月10日	¥49,850	5月2日	¥55,760
2014年6月	¥51,760	6月17日	¥56,340	7月10日	¥51,730	6月17日	¥55,120

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末7/19のシカゴ市場は、8月限で前日比21.50セント高の1490.75セント。11月限では8.25セント高の1274.00セント。

…中略…

なおCFTC発表の7/16現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、55,000円台は試し売しても良い水準だろう。本格的な下落は収穫が始まってからの事となろうが、上値は限定的なはずであり、56,340円は天井であろうとの見方を採っているゆえに。

[ゴム]

○東京ゴム日足

…削除済み…

今週のゴムの値動き

	7月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
7月16日	229.5	-3.3	234.6	-3.9
7月17日	237.8	8.3	244.7	10.1
7月18日	241.0	3.2	247.6	2.9
7月19日	245.5	4.5	251.6	4.0

先週号においては『戻り売り相場だと考えているものの、仕掛けポイント&材料ともに明確になっていない。売り場のポイントを探しているところである』とコメントした。

今週の相場展開は、17日に大きく買われた相場がその後、週末に上値抵抗線を突破し、一気に262.0円(7/19)まで急騰。さすがにそこからは、10円幅の反落で終了である。

…中略…

ただしこれで、値幅としては二段上げも完了か。来週にこの262.0円の高値を抜かなければ、売り仕掛けポイントがやって来るかもしれない。

だが225.0円(6/25)→262.0円(7/19)までの上げは37円幅となり、チャートの格好も逆三尊底からトレンド転換に見えなくもない。もう一度260円台に返り咲くようなら、225円で底入れ、買いトレンドへの大転換も視野に入れざるを得ない。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年7月	316.3	1月28日	337.8	2月6日	222.2	6月21日	245.5
2013年8月	301.0	2月25日	302.1	2月25日	222.6	6月25日	248.1
2013年9月	279.5	3月26日	297.7	5月13日	221.9	6月25日	248.7
2013年10月	253.7	4月24日	299.0	5月13日	222.3	6月25日	249.8
2013年11月	267.7	5月28日	274.8	5月29日	223.9	6月25日	250.5
2013年12月	231.0	6月25日	262.0	7月19日	225.5	6月25日	251.6

当先のサヤは、7月限245.5円～12月限251.6円と**6.1円**の順ザヤ。順ザヤ幅に大きな変化はない。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、6/30現在で632トン減の11,585トン。6旬連続の減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、…中略…

結論として当方の相場観は、250円台は売り狙いのポイントとなるだろう。しかし再度260円台に乗せた場合は、トレンドが転換する可能性がある。よってストップロスを入れながらの対処がベターであろう。

〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

まずは原油から…

先週においては『NY 原油はここから上昇して幾らあるの？という値位置まで上がってきたが、東京原油はまだ押し目買い方針堅持で良からう』とコメントした。

今週の相場展開は、NY 原油は 108.43 ドル (7/18) まで上昇。週末 7/19 は、前日比 0.01 ドル高の 108.05 ドルでの終了であるが、高値は 109.32 ドルまで記録。更に高値を更新した。

先々週号において、「チャートでは、この半年間続いてきた 85 ドル～98 ドルの相場を完全に上放れしてきた事となる。…中略…単純にもみ合い倍返しなら 111 ドル台まで上昇する事となる。また直近の 99 ドル→92 ドルまでの押しの倍返しなら、106 ドルが目標の相場になる」としたが、まずはその 106 ドルはとっくにクリア。さて 111 ドルまであるかどうか？

…中略…

なお週末のロンドンブレントは…中略…

また 7/19 現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

今週の東京原油の動き

	7月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
7月16日	¥65,000	560	¥63,820	820
7月17日	¥64,830	-170	¥63,470	-350
7月18日	¥65,310	480	¥64,490	1020
7月19日	¥65,240	-70	¥64,560	70

東京原油は、週末には 65,220 円 (7/19) まで上昇し、一代高値の更新中である。

チャートではついに 5/20 の高値 65,000 円も抜いたわけで、次のターゲットは 66,460 円である。相対力指数はまだ 62 ポイント台であり、NY 原油に比べると過熱感もない。

また先週末までに調整安を入れているため、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年7月	¥62,910	2月1日	¥66,460	2月13日	¥57,780	4月18日	¥65,240
2013年8月	¥60,560	3月1日	¥66,480	7月19日	¥57,360	4月16日	¥65,800
2013年9月	¥62,370	4月1日	¥66,180	7月19日	¥57,370	4月18日	¥65,520
2013年10月	¥59,500	5月1日	¥65,840	7月19日	¥57,510	5月2日	¥65,160
2013年11月	¥60,370	6月3日	¥65,530	7月19日	¥58,040	6月14日	¥64,860
2013年12月	¥60,580	7月1日	¥65,220	7月19日	¥60,210	7月1日	¥64,560

結論として当方の相場観は、NY 原油は青天井のパターンにすでに入っている。それに比べて東京市場は、上場商品が中東産原油なので上げ遅れており、相対力指数でも過熱感はない。よって東京も押し目買い一貫の展開であろう。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	8月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
7月16日	¥78,710	680	¥75,600	760
7月17日	¥78,330	-380	¥75,270	-330
7月18日	¥79,150	820	¥76,080	810
7月19日	¥79,450	310	¥76,290	210

続いてガソリンです…

先週号においては『押し目買い一貫の相場であろう。最大で83,000円台までの上昇を予測しており、少なくともまだ天井は遠いとの判断である』とコメントした。

今週の相場展開は、週末には**76,940円(7/19)**までの高値を記録。そこからはさすがに値を消したが、先物4本が一代高値の更新中である。

先週号でもコメントしたが、「チャート判断では、68,030円(5/2)を底として、戻り高値の75,590円(5/20)はすでに抜いているだけに、倍返しなら**83,150円**が最大目標値になる。その前に**79,590円(3/12)**、**82,250円(2/13)**と上値抵抗線があるものの、長期目標はその辺りまで引き上げられてもおかしくはないだろう」という見方に変化はない。

その中で今週は4/10の小さな抵抗線**76,680円**を抜いたわけで、次のターゲットは**79,590円**に定められた展開だ。先週の安値を切って来ない限り、現在の上昇トレンドは維持されるものと想定され、押し目買いの継続がベターであろうと見ている。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥76,550	1月28日	¥82,250	2月13日	¥69,600	4月16日	¥79,450
2013年9月	¥78,930	2月26日	¥79,590	3月12日	¥69,050	4月18日	¥78,420
2013年10月	¥74,630	3月26日	¥78,090	7月19日	¥68,150	4月18日	¥77,510
2013年11月	¥72,990	4月26日	¥77,590	7月19日	¥68,030	5月2日	¥75,900
2013年12月	¥71,760	5月27日	¥77,190	7月19日	¥69,450	6月14日	¥76,520
2014年1月	¥70,660	6月26日	¥76,940	7月19日	¥69,520	6月27日	¥76,290

7/19 現在の業者間転売価格は、…中略…

7/13 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買い一貫の展開で、まずは79,000円台へ。そして8万円相場を目指すだろう。最大で83,000円台まで上がっても驚かない。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週の灯油の値動き

	8月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
7月16日	¥76,390	870	¥78,070	770
7月17日	¥76,280	-110	¥77,670	-400
7月18日	¥77,350	1070	¥78,740	1070
7月19日	¥77,510	310	¥78,820	80

最後に灯油です…

先週号においては『8万円相場を目前に一度調整が入ったが、これは理想的なパターンかも。押し目買いの継続で、高値更新を目標に掲げる相場であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、週末には**79,610円(7/19)**の高値まで記録。ついに8万円台に王手が掛かるところまで上昇してきた。

先週号でもコメントしたが、「現状では上昇トレンドと判断するのが妥当であり、**次は8万円台相場の実現であろう**。チャート判断では69,000円(4/18)の底値、戻り高値の77,820円(5/20)の倍返しの上げなら、**最大で86,640円までの上昇があっても驚かぬ**」という相場観に変更はない。

唯一気になるのは、週末の高値**79,610円**は7/8の高値**79,600円**の1文新値であるという事。7/12の押し目である**77,080円**を割り込むと嫌な感じになるが、それならばそこにストップロスを設定すれば良いだけの話だ。

相対力指数もまだ62ポイント台で過熱感もなく、次のターゲットは82,030円(2/12)の年初来高値の更新だろう。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年8月	¥74,200	1月28日	¥82,030	2月12日	¥67,720	4月18日	¥77,510
2013年9月	¥76,550	2月26日	¥78,380	7月19日	¥68,340	4月18日	¥77,550
2013年10月	¥74,090	3月26日	¥78,510	7月19日	¥69,000	4月18日	¥77,880
2013年11月	¥75,350	4月26日	¥79,010	7月19日	¥69,850	5月2日	¥78,260
2013年12月	¥74,610	5月27日	¥79,550	7月19日	¥71,580	6月14日	¥78,800
2014年1月	¥73,900	6月26日	¥79,610	7月19日	¥72,650	6月27日	¥78,820

7/19現在の業者間転売価格は、…中略…

7/13現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、77,080円にストップロス置いて、押し目買い一貫の相場であろう。まずは8万円台回復を目指し、次に82,000円台クリアを目指す相場であろう。

[為替・株式]

○ドル/円相場日足

…削除済み…

101.53 円 (7/8) →99.14 円 (7/11) まで押しの後、現在はその範囲内での推移である。これをどちらに抜くのが焦点であり、上に抜いたら 103 円台へ、下に抜いたら 93 円台へと向かうのだろう。

なお来週の主な予定は、

21 日 (日) 第 23 回参議院議員通常選挙投開票、

22 日 (月) 安倍首相会見、米中古住宅販売件数 (6 月)

23 日 (火) 米住宅価格指数 (5 月)

24 日 (水) 日本通関ベース貿易収支 (6 月)、米新築住宅販売件数 (6 月)

25 日 (木) 米耐久財受注 (6 月)、米新規失業保険申請件数 (19 日までの週)

26 日 (金) 日本全国消費者物価指数 (6 月)、

などである。

…中略…

○日経平均日足

…削除済み…

週末の日足 1 本が入っていないが、週末は 14,950 円まで上昇の後、10 時半頃から急落した相場が 14,400 円まで暴落し、その後小戻しして終えている。 …中略…

○NY ダウ日足

…削除済み…

週末の NY ダウは、4.8 ドル安 (-0.03%) とほとんど変わらずの 15543.74 ドルでの終了。マイクロソフト株が 12%以上の暴落や、デトロイト市の財政破綻などの材料があった割には底堅く、5/22 の高値を抜いて史上最高値での推移となっている状況に変わりはない。

VIX 指数も急落している情勢では、NY 株の下落はまだ先のことなのかも。バーナンキの量的緩和縮小から急落の懸念がある、という意見も沢山聞くのだが、まだそういう話題が主流のうちはダメなんじゃないかな？

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com